

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科											
こどもの保健											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	熊坂隆行			実務 経験	有	職種	看護師				
授業概要											
<p>保育の現場において、こどもの健康と安全を守るよう、保健を学ぶことの意義や実践を学ぶ。日常生活に必要な援助、さまざまな症状への対応、病気への対処・予防、事故防止と安全、応急処置、衛生管理について実践する。</p>											
到達目標											
<p>こどもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価ができること。こどもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整ができること。こどもの疾病とその予防及び適切な対応ができること。救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策が立案できること。現代社会における心の健康問題や地域保健活動などについて理解できることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>レジュメ、配布資料の内容についての解説はPowerPointを用いて進め、実技についてはDVDを用いて、より詳しく解説する。また、演習はグループで行ない、学生が主体的に「問い」を發し、その「答え」を個人およびグループで發見、検討していく形式で進める。参考資料を紹介し、多面的に対象を理解する機会を提供する。</p>											
成績評価方法											
<p>実技、発表、授業態度から総合的に評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に参加することを前提とする。学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するが、こどもの健康と安全を守る重要な科目であることから、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。</p>											
教科書教材											
<p>毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。</p>											
回数	授業計画										
第1回	こどもの保健を学ぶ意義と目的										
第2回	保健活動の計画										
第3回	保健活動の評価の実際										

第4回	観察技術の講義と演習：観察項目についての理解
第5回	観察技術の実践
第6回	日常に必要な看護技術：日常生活において必要な援助の理解
第7回	日常に必要な看護技術：日常生活において必要な援助の実践
第8回	症状に対する看護：さまざまな症状への対応の理解
第9回	症状に対する看護：さまざまな症状への対応の実践
第10回	病気への対処と予防：感染症・食中毒・手洗いチェック
第11回	事故防止と安全教育：発達段階と事故
第12回	事故防止と安全教育：発達段階と事故予防
第13回	保育における応急処置の理解
第14回	保育における応急処置の実践
第15回	こどもの保育環境と衛生管理